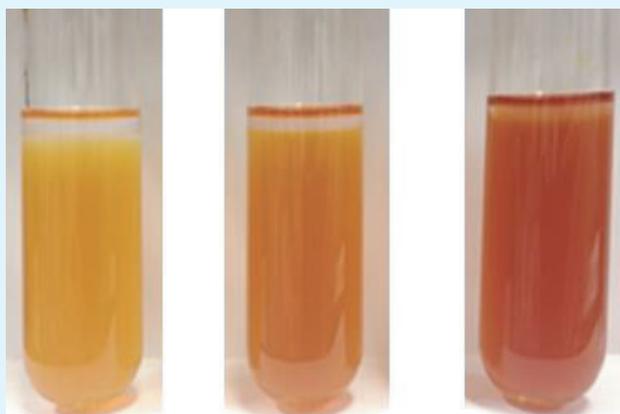


Color Gallery

論文

N-クロロスクシンイミドを用いる油脂のヨウ素価の測定 小林里美, 井上正之

N-クロロスクシンイミド（以下 NCS と記す）とヨウ化カリウムを酢酸中で反応させて一塩化ヨウ素を調製し、これを用いて油脂のヨウ素価を測定する実験を検討した。またこの一塩化ヨウ素を用いて、比色により油脂のヨウ素価の大小を比較する実験を検討した。NCS は Wijs 試薬に比べて揮発性・腐食性が小さく、安全に扱うことができる。また本法では従来の Wijs 法に比べて付加反応に要する時間が短く、廃有機溶媒の量が少ない。P532-535



	色調
1	255,255,255
2	255,255,155
3	225,180,0
4	255,110,0
5	190,0,0

■内径 18 mm 試験管中でのヨウ素価の比較

吸光度の差が大きいアマニ油、メンジツ油、ヤシ油を用いれば、色調の濃淡によって乾性油、半乾性油、不乾性油のヨウ素価の大小を比較する実験が行える。写真は左からアマニ油、メンジツ油、ヤシ油。

生徒実験における結果の報告の際には、色調の色見本表（右）を作成して、各試験管の溶液の色と最も近い色を報告させるとよい。回答用色見本の数値は各色の R, G, B 値を示している。